



「にやあにやあがまらね いないないなばあ」

今 家庭・家族・親子をめぐる事件が毎日のように報じられています。社会の一番小さな単位である家庭が、心安らぐ場所ではなくなりましたでしょうか。今回の「ららら」では、子育てのスタートラインにいる方たちを応援する意味でも、コミュニケーションの芽を育て、子育てに生かしていただければと思います。このテーマに取り組んでみました。

生まれたばかりの赤ちゃんが、お母さんの声に反応するのは母体の中にいる時から、ちゃんと声を認識しているからだといわれています。喃語(あーうー)がでてきた頃から、絵本をお勧めします。決して1冊を読み通すことをお勧めするものではありません。1ページもしくは一言でもかまわないです。「絵本の三言のフレーズ」に赤ちゃんが反応してくれたらもう一言と、積み上げていければ良いのです。ゆつくりと楽しみながら、声をかけてあげる時間を大事にして下さい。

なぜ絵本かと思議に思うかもしれませんが、日常の私達の生活にない穏やかな言葉や言葉使用など、心に届く言葉が用意された本だからです。4ヶ月くらいの赤ちゃんからどうぞ、特に「いないいないばあ」の本などは、これからの発達にも合う本です。穏やかな色と絵柄の絵本をお勧めします。

読む気持ちで絵本の中の世界を楽しみましょう。一緒に経験なんてこの時期にしかできない貴重な体験かもしれません。ただし、これだけはやめましょう。それは「これはなに？」と絵本の中身を確認しながら読むこと。「楽しいね」を子どもに強要することです。お話が楽しめないどころか、まるでお勉強のようで、絵本どころか本自体が嫌いになってしまいます。

絵本は優しい声でなければ読めないものです。お父さんとお母さんとは、同じ本なのに面白さが違います。優しい声でたくさん絵本の世界を楽しんで下さい。幸せな時間、長さではありません。思い出が、家族の存在の大きさにつながっているのかも知れません。

赤ちゃんからの子育てを楽しむことで、良好な親子の形が作られていくのではないのでしょうか。いつの間にか、子どもの存在によって自分にもたらされている多くの知識や出会いなどに気がつく。その存在は今まで以上にいとoshiiものになっていくのでしょうか。

「何歳まで読めばよいのでしょうか？」と良く聞かれるのですが、「読んで」と本を持つてくる間は読んであげて欲しいです。それは本を読んで欲しいという思いとは別に、優しいお母さん、お父さんの声が聞きたかったり、なんとなくそばに居て欲しい気がする場合もあるからです。小学校の高学年になつてくるのに、この場合には、さらにその気持ちが強い場合もあります。学校で少し辛いことがあったり、悲しい気持ちで帰ってきた時などは特に、そうかもしれません。「私だけに読んでくれる時間」はかけがえない支えの時間ともいえるのです。自分にとつて「宝物の絵本」が見つけられた子は、更に学年が上になつて親子での落ち着いた話し合いが出来なくなる時期が来て、その絵本が置いてあるだけで表情がやわらいだり、素直になつたりすることもあります。

絵本なんて...と思う方には、声を出して読んでみることをお勧めします。1冊をゆつくり読み終えると懐かしい幸福感が広がります。

「コミュニケーションの芽を大切に育て、お互いの理解を深めること」はこれからの家族のあり方の上で大切なことです。子どもは親の自由になる存在ではなく、親とは別の人格を持った一人として、この世に命を受けた家族なので、すから。

子育てはまさしく自分育てなのです。どうぞ楽しんでいい子育てを...

(おはなしなにあに 松山)

# 会員イベント情報

「ら・ら・ら」では、生涯学習推進協議会に加入する各々の団体の行事を、分かる範囲内で紹介・お知らせ致します。☑  
それぞれの事業活動が、本誌によりご理解いただけ、参加交流が持てますことを期待し作成しております。☑  
39号では、2月・3月の行事を掲載致します。今後、皆様の団体の行事等が決まりましたら、事務局まで事業の内容・日時・☑  
場所等をお知らせ下さいませようお願い申し上げます。☑

【事務局】江別市教育委員会生涯学習課 TEL 011-381-1062 FAX 011-382-3434 URL <http://www.e-lalala.org/>

## 【イベント情報】

### ☆江別痴呆の人の家族を支える会☑

#### ・介護家族の集い☑

介護家族の方には、仲間と日頃の悩みや情報を語り合っていたり、又保健師さん等の専門職の方の助言もいただきます。午前中だけでも大丈夫ですので、どうぞお気軽にお越し下さい。☑

日時 平成19年3月15日(木)☑

午前10時～午後3時☑

会場 江別市コミュニティセンター☑

2階研修室1号(3条5丁目)☑

参加費 無 料☑

申込み 当日直接会場へお越し下さい。☑

問合せ先 江別痴呆の人の家族を支える会☑

TEL 387-5657☑

(水・木 午前10時～午後3時)☑

### 【支援事業】

#### ☆子ども文化ネットワーク・江別☑

#### ・第3回こねっと講座☑

あなたは文字で子どもたちに何かを伝えたいと考えたことはありませんか。こねっと(子ども文化ネットワーク・江別)では、児童文学の創作講座を開催することになりました。講師の升井さんは自ら執筆活動を進めながら創作に携わりたいと考えている多くの方に、積極的にアドバイスされてきました。書きたい方も、童話に興味のある方も、講座を気楽にのぞいてみて下さい。ぜひご参加をお待ちしています。☑

日時 平成19年2月24日(土)☑

午後1時30分～3時30分☑

会場 野幌公民館 研修室5号☑

(野幌町13-16)☑

講師 日本児童文学者協会北海道支部 升井純子さん☑

定員 25名☑

参加費 500円☑

申込み・問合せ先 ☑

子ども文化ネットワーク・江別

高木 TEL 383-4733☑

### ☆北陽美術協会☑

#### ・春季展☑

毎年恒例になっている春季展が今年も野幌公民館ギヤロリ一で開催されます。北陽美術協会の会員がそれぞれの得意分野で力作を展示致します。☑

日時 平成19年3月27日(火)☑

～4月1日(日)☑

午前10時～午後5時☑

(最終日は午後4時まで)☑

会場 野幌公民館 ギヤロリ一☑

(野幌町13-16)☑

種別 日本画・油彩画・切り絵☑

問合せ先 北陽美術協会 事務局☑

村山 TEL 384-6202☑

## 『生涯学習リレー講座』好評のうち終了

昨年の10月6日から毎週金曜日の夜5回シリーズで、本協議会主催の『生涯学習リレー講座』が大麻公民館で開催されました。定員を大幅に上回る応募があり、好評のうち無事終了することができました。一部の方には受講をお断りさせて頂いたとき、申し訳ございませんでした。☑

今回は、郷土江別の歴史をまなぶをテーマに、各分野の専門の先生方から大変興味深い内容の講義をしていただきました。講義内容としては、江別式土器文化を中心とした先史時代から、古代国家と蝦夷との関係、近世から近代での石狩改革、北海道開拓期と北越殖民主社、昭和時代の川と人々の生活までの江別の歴史について等でした。☑

今回の講座をきっかけに江別の歴史に興味を持ったという受講者の方も大勢いらっしゃったよう



毎回 多くの市民が参加されました☑

### 編集後記

暖かい、雪の少ないお正月、皆さん元気に新春をお迎えになられましたか。☑

今回も生涯学習の会員さんの内容を、皆さんに少しでも知って頂きたいと努力しております。ご覧になった皆さんの御感想、又各会様子の行事予定など、ぜひお知らせ頂ければ幸いです。☑

皆さんの声で当紙の向上を祈ります。☑  
(江別痴呆の人の家族を支える会 三井)☑

## 新入会員大募集

### ☆江別まっことええ & 北海道情報大学☑

6月に行われる『第16回YOSAKOIソーラン祭り』で踊ってませんか!☑  
江別市ただ1つの市民チーム「江別まっことええ&北海道情報大学」は踊りが好きな、やる気あふれる仲間を待っています。☑

◆練習日～火曜日 19時から21時☑  
木曜日 19時から21時☑  
土曜日・日曜日☑  
(昼間と夜と交互)☑

◆練習場所～第二中学校体育館を中心に、市内の学校体育館など☑

◆募集年齢～小学校5年生以上☑

◆連絡先～代表・柏木真紀子☑  
(TEL&FAX 385-1789)☑  
事務局長・近藤弘隆☑  
(TEL&FAX 387-4211)☑